

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	__ 001
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	ゆとり・やすらぎ道空間(市橋地区)					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 26 年度	~	令和 9 年度	根拠法令・関連計画	-	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	当該地区は小学校に通学する児童など、通学等の歩行者、自転車利用者が多く、朝夕の通勤時間帯には、幹線道路などの渋滞を避ける自動車が入り、非常に危険な状況となっており、その結果、交通事故率が高く、国土交通省と警察庁からあんしん歩行エリアに指定されている。歩行者や自転車利用者の安全を確保するため、路側のカラー化や歩道整備等を行うことにより、あんしん歩行エリアの形成を推進する。					
内容 (手段・手法など)	路肩のカラー化、歩道の整備、交差点のカラー化					
事業の 対象	何を	通学路を中心として、警察や地元住民、学識経験者などによる協議会の中で危険性が高いと判断された歩道や歩車共存道路				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備延長 L=3, 950m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	-					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,875	150	4,845	150	4,770	150
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,875	150	4,845	150	4,770	150

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		89,355	48,892	27,177
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	89,355	48,892	27,177
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		89,355	48,892	27,177

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	94,230	53,737	31,947

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	40,295	25,932	13,200
県支出金	0	0	0
市債	38,800	23,200	13,223
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	79,095	49,132	26,423

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	15,135	4,605	5,524

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	道路整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	358.9	280.9	255.9	
実績値	358.9	280.9	255.9	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	歩行者・自転車事故の減少		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	事業完了後20%減少	事業完了後20%減少	事業完了後20%減少	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	交通事故率が高いエリア内において、地元住民等で構成された協議会 で選定された交通安全対策であるため、市民・社会のニーズに合っ ている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業がなく、統廃合はできない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	整備費用に対し、歩行者・自転車の事故減少効果は高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要が ある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、サービスを提供でき、計画した効果が将来にわた り得られる見込みである。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であるため、公平性は高 い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	歩行者や自転車の安全な通行を確保する道路整備であるため、引き 続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840040 \_ 002

## 【1.基本情報】

事業名	折立9号線					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 24 年度	～	令和 5 年度	根拠法令・関連計画	—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	事業区間の整備により、中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学医学部附属病院へのアクセス向上を図る。(アクセス道路は県と市が連携して整備を行っている。) また、事業区間は、黒野小学校の通学路であり、道路整備後の歩行者の安全確保が求められているため、歩行者、自転車の安全性の向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	市道(折立9号線)の整備					
事業の 対象	何を	市道(折立9号線)				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備延長 500m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,925	90	5,814	180	5,724	180
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,925	90	5,814	180	5,724	180

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		229,940	93,653	47,804
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	229,940	93,653	47,804
	用地補償費	0	0	0
	委託料	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		229,940	93,653	47,804

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	232,865	99,467	53,528

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	111,913	47,170	23,902
県支出金	0	0	0
市債	96,200	38,594	21,512
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	208,113	85,764	45,414

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	24,752	13,703	8,114

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	0

**【7.指標】**

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	740	502	310	
実績値	240	502	310	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	約6分/2.8km(整備完了時)	約6分/2.8km(整備完了時)	約6分/2.8km(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。また、併走する主要地方道岐阜大野線の主要渋滞箇所(2箇所)の混雑の緩和が見込まれる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込み ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上(定時性の確保) ③主要渋滞箇所の混雑緩和
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上を図る。 また、事業区間は、黒野小学校の通学路であり、道路整備後の歩行者の安全確保が求められているため、歩行者、自転車の安全性の向上を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	__ 003
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	柳津14号線ほか1路線					
担当部名	基盤整備部			担当課名	道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類			実施主体	岐阜市
開始・終了年度	平成	23	年度～	令和	5	年度
				根拠法令・関連計画	—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	柳津ものづくり産業集積地の開発に伴い、周辺道路網の整備として、主要地方道 岐阜垂井線からのアクセス性を向上させ、円滑な交通分散を図るとともに、歩道を設置して歩行者の安全性を確保する。					
内容 (手段・手法など)	市道(柳津14号線ほか1路線)の整備					
事業の 対象	何を	柳津14号線ほか1路線				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備総延長 L450m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	162	5	159	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	162	5	159	5

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	0	0
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	0	0
	用地補償費	0	0	0
	委託料	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	0

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	163	162	159

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	2,096	20,050	0
県支出金	0	0	0
市債	1,500	20,050	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	3,596	40,100	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	-3,434	-39,939	159

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故死者、負傷者数減少		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	柳津ものづくり産業集積地から幹線道路へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。また、主要地方道岐阜垂井線と一般県道鶉羽島線の周辺渋滞箇所との混雑の緩和が見込まれる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②柳津ものづくり産業集積地から幹線道路へのアクセス向上 ③主要渋滞箇所の混雑緩和
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	柳津ものづくり産業集積地の主要地方道 岐阜垂井線からのアクセス性を向上させ、円滑な交通の分散を図り、かつ歩道を設置し、通学路の安全性を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	004
----	---------	-----

## 【1.基本情報】

事業名	七郷33号線ほか1路線					
担当部名	基盤整備部			担当課名	道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類			実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和	元	年度～	令和	11	年度
				根拠法令・関連計画		—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	当該事業区間は近隣に位置する岐阜西中学校の通学路になっているが、多くの生徒が歩道の無い狭い道路を自動車と混在して通学しているため、安全確保が求められている。当該区間の整備により、通学路の安全を確保するとともに、この地域の医療の中心である岐阜清流病院(二次救急医療機関)及び、岐阜大学医学部附属病院(三次救急医療機関)へのアクセス性の向上を図る。また、本路線の整備は本巣市や北方町方面との広域道路ネットワーク形成に寄与するものである。					
内容 (手段・手法など)	市道(七郷33号線ほか1路線)の整備					
事業の 対象	何を	市道(七郷33号線ほか1路線)の整備				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備延長 840m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	1,938	60	1,908	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	1,938	60	1,908	60

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		16,773	78,641	2,090
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	39,979	0
	用地補償費	9,884	38,662	0
	委託料	6,889	0	2,090
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		16,773	78,641	2,090

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	18,723	80,579	3,998

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	8,384	34,128	1,045
県支出金	0	0	0
市債	7,100	31,400	941
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	15,484	65,528	1,986

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,239	15,051	2,012

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故 死傷者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、救急医療機関へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、本市北西部地域を南北に貫く主要な幹線道路であり、主要地方道岐阜環状線、主要地方道岐阜関ヶ原線、都市計画道路長良糸貫線と一体となって都市幹線道路網を形成するため、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	歩道が整備された区間においては歩行者の安全が確保されている。 工事完成区間において良好な市街地が形成され、沿道には薬局等の店舗が多数出店するなど、まちづくりとしての効果を発揮している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	通学路の安全が確保され、さらには、この地域の医療の中心である二次救急医療機関の岐阜清流病院及び、三次救急医療機関である岐阜大学医学部附属病院のアクセスの向上を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840040 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	水野町線					
担当部名	基盤整備部		担当課名		道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 8 年度	～	令和 7 年度	根拠法令・関連計画	—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	都市計画道路水野町線は、JR岐阜駅連続立体交差事業の完成(H10)に合わせて、駅北地区と駅南地区を結ぶ交通の確保と、増加が予想される駅周辺の交通の円滑化を図る。					
内容 (手段・手法など)	都市計画道路(水野町線)の整備					
事業の 対象	何を	都市計画道路(水野町線)				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備総延長 L=332m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,850	180	5,814	180	5,724	180
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	5,850	180	5,814	180	5,724	180

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		177,993	177,469	41,440
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	141,012	169,486	22,447
	用地補償費	0	4,683	0
	委託料	36,981	3,300	18,993
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		177,993	177,469	41,440

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	183,843	183,283	47,164

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	80,870	83,311	20,720
県支出金	0	0	0
市債	72,500	74,900	18,648
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	153,370	158,211	39,368

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	30,473	25,072	7,796

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2(整備完了時)	2(整備完了時)	2(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、岐阜駅周辺の混雑緩和が図れることから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、中心市街地を南北に縦貫する幹線道路であり、北の都市計画道路栄町西ノ荘線と南の都市計画道路新本町市橋線を含む都市幹線道路網を形成するため、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②都市幹線道路網の強靱化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	JR岐阜駅北地区と駅南地区を連絡し、駅周辺の交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840040 \_ 006

## 【1.基本情報】

事業名	北一色若宮地線										
担当部名	基盤整備部				担当課名			道路建設課			
実施方法	直営			補助等の種類			実施主体		岐阜市		
開始・終了年度	平成	24	年度～	令和	6	年度	根拠法令・関連計画		—		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	都市計画道路北一色若宮地線は、岐阜県総合医療センターへのアクセス道路として、第2次緊急輸送道路に指定されているが、未整備であるため本路線を早期整備する。また、道路の整備によって長森コミュニティーセンター周辺における歩行者の安全確保及び交通の円滑化を図る。										
内容 (手段・手法など)	都市計画道路(北一色若宮地線)の整備										
事業の 対象	何を	都市計画道路(北一色若宮地線)									
	誰に	地域住民及び道路利用者									
	どのくらい	整備総延長 L=350m									
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—										

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	1,938	60	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	1,938	60	0	0

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		70,501	4,905	0
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	70,501	4,905	0
	用地補償費	0	0	0
	委託料	0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		70,501	4,905	0

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	72,451	6,843	0

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	28,690	0	0
県支出金	0	0	0
市債	27,400	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	56,090	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	16,361	6,843	0

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	70	35	0	
実績値	48	34	0	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故死者、負傷者数減少		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、救急医療機関へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、都市計画道路岐阜蘇原線と岐阜県総合医療センターを結ぶ二次緊急輸送道路であり、救急医療機関へのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	都市間、中心市街地と地域生活拠点を有機的に結ぶネットワークの形成を目指し、都市計画道路網の整備を進めるために必要な事業であり、継続して推進する必要がある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜県総合医療センターへのアクセス道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている本路線を整備し、かつ長森コミュニティーセンター周辺における歩行者の安全確保及び交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	__ 007
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	金町那加岩地線ほか1路線									
担当部名	基盤整備部				担当課名			道路建設課		
実施方法	直営		補助等の種類			実施主体		岐阜市		
開始・終了年度	令和	元	年度～	令和	8	年度	根拠法令・関連計画	—		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	都市計画道路金町那加岩地線ほか1路線は、各務原市が実施する(都)日野岩地大野線と一体的に整備することにより、県総合医療センターへの緊急搬送時間の短縮、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保するとともに、相互の広域道路ネットワークの形成を図る。										
内容 (手段・手法など)	都市計画道路(金町那加岩地線ほか1路線)の整備										
事業の 対象	何を	都市計画道路(金町那加岩地線ほか1路線)									
	誰に	地域住民及び道路利用者									
	どのくらい	整備総延長 L=890m									
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—										

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,900	120	20,349	630	20,034	630
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,900	120	20,349	630	20,034	630

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		52,580	616,325	117,709
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	0	0
	用地補償費	0	580,715	114,431
	委託料	52,580	35,610	3,278
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		52,580	616,325	117,709

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	56,480	636,674	137,743

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	26,290	308,162	58,855
県支出金	0	0	0
市債	23,500	277,300	52,969
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	49,790	585,462	111,824

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	6,690	51,212	25,919

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	4(整備完了時)	4(整備完了時)	4(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、広域道路ネットワークの形成を図り、救急医療機関へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、都市計画道路日野岩地大野線、岐阜鶴沼線及び県道長森各務原線を結ぶ道路となり、各務原市との広域道路ネットワークの形成、救急医療機関へのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①各務原市との広域道路ネットワークの形成 ②幹線道路網の強靱化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和 ④緊急医療機関への緊急搬送時間の短縮
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	各務原市と連携し整備することで、相互の広域道路ネットワークの形成を図る幹線道路であり、県総合医療センターへの緊急搬送時間の短縮、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	__ 008
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	西郷302号線																				
担当部名	基盤整備部					担当課名					道路建設課										
実施方法	直営			補助等の種類								実施主体					岐阜市				
開始・終了年度	令和	2	年度	～	令和	8	年度	根拠法令・関連計画					—								

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	西郷302号線は、本巣市及び岐阜県が実施する(都)長良糸貫線と一体的に整備することにより、(仮称)糸貫ICへのアクセス向上、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保するとともに、相互の広域道路ネットワークの形成を図る。														
内容 (手段・手法など)	西郷302号線														
事業の 対象	何を	西郷302号線													
	誰に	地域住民及び道路利用者													
	どのくらい	整備総延長 L=400m													
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—														

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	325	10	646	20	636	20
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	325	10	646	20	636	20

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		7,090	23,453	65,289
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	0	0
	用地補償費	0	0	59,210
	委託料	7,090	23,453	6,079
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		7,090	23,453	65,289

### (3)総コスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D		7,415	24,099	65,925

## 【4.収入】

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金		0	10,500	32,645
県支出金		0	0	0
市債		0	10,500	29,380
使用料・手数料		0	0	0
その他		0	0	0
計(F)		0	21,000	62,025

## 【5.収支】

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)		7,415	3,099	3,900

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

**【7.指標】**

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	減少(整備完了時)	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、広域道路ネットワークの形成を図り、(仮称)糸貫ICへのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、(都)長良糸貫線の一部であり、本巣市との広域道路ネットワークの形成、(仮称)糸貫ICへのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①本巣市との広域道路ネットワークの形成 ②幹線道路網の強靱化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和 ④歩行者と自転車の安全確保
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本巣市と連携して整備することで、相互の広域道路ネットワークの形成を図る幹線道路であり、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840040 \_ 009

## 【1.基本情報】

事業名	道路局部改良				
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市
開始・終了年度	—	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	通学路(小学校、中学校)や、生活道路において、すれ違い時、車や歩行者等の通行が危険な箇所の路肩を拡幅するなど整備することにより、高齢者をはじめとする交通弱者の安全性が向上することで、より安全・安心な道路交通環境の確保を図る。				
内容 (手段・手法など)	市道の拡幅(路肩改良)				
事業の 対象	何を	岐阜市が管理する道路			
	誰に	地域住民及び道路利用者			
	どのくらい	地域が要望する道路の整備			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	2,584	80	2,544	80
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	2,584	80	2,544	80

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		119,648	165,004	23,596
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	106,953	159,638	23,596
	用地補償費	452	0	0
	委託料	12,243	5,366	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		119,648	165,004	23,596

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	121,598	167,588	26,140

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	51,062	79,055	11,798
県支出金	0	0	0
市債	46,600	72,400	10,618
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	97,662	151,455	22,416

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	23,936	16,133	3,724

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	890	1,162	-	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	補助幹線道路整備路線数		単位	路線
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	10	10	3	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	地域に密接に関係した路線であり、必要性は高い。 岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	交通事故減少などの整備効果が高い。また、現況の有効幅員が狭い 箇所では拡幅することで安全なすれ違いが可能となる。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	地域生活圏における道路であり、整備が完了すれば、地域交通の円 滑化、緊急時の避難経路の確保、通学路等の安全確保につながる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	地域住民等が利用する道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	幅員が狭小道路の拡幅により、地区内の交通の利便性を図ることは重 要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1840040 \_ 010

## 【1.基本情報】

事業名	長森343号線(長森駅北口交通広場整備)					
担当部名	基盤整備部			担当課名	道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類			実施主体	岐阜市
開始・終了年度	令和 3 年度	～	令和 6 年度	根拠法令・関連計画	—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR長森駅北口に、コミバスロータリーや駐輪場等の施設整備(交通広場整備)をし、交通結節点の拡充を図る。</li> <li>・交通広場へのアクセス道路を整備し、道路・駅利用者の安全性、利便性の向上を図る。</li> </ul>					
内容 (手段・手法など)	長森343号線及び交通広場の整備					
事業の 対象	何を	長森343号線及び長森駅北口交通広場				
	誰に	地域住民及び道路・駅利用者				
	どのくらい	長森343号線整備延長L=170m、長森駅北口交通広場整備面積A=2,500㎡、自転車駐車場収容予定台数300台				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	1,163	36	4,134	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	1,163	36	4,134	130

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	4,188	83,710
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	0	20,334
	用地補償費	0	0	41,376
	委託料	0	4,188	22,000
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	4,188	83,710

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	5,351	87,844

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	41,855
県支出金	0	0	0
市債	0	0	33,900
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	75,755

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	0	5,351	12,089

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	地域住民及び道路・駅利用者	地域住民及び道路・駅利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	自転車駐車場収容予定台数		単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	300	300
実績値	—	—	150	150

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	自転車駐車場からあふれている自転車数		単位	台
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	0	0
実績値	—	—	100	100
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、長森駅周辺の混雑解消が図れることから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、長森駅を利用する歩行者、自転車、自動車が多く通行するアクセス道路であるため、道路・駅利用者の安全性向上、利便性向上、混雑解消、他の交通機関等とのアクセス性向上などの整備効果が高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②道路・駅利用者の利便性向上 ③駅周辺の混雑解消 ④他の交通機関等とのアクセス性向上
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	JR長森駅北口及び長森343号線を整備し、道路・駅利用者の安全性、利便性の向上を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。



# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1840040	__ 011
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	鷺山下土居線					
担当部名	基盤整備部		担当課名		道路建設課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和 3 年度	～	令和 9 年度	根拠法令・関連計画	—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	都市計画道路鷺山下土居線は、(都)長良糸貫線から(都)環状線を南北に結ぶ幹線道路であり、鷺山中洙土地区画整理事業で整備される区間と本路線を同調して整備することで、交通の確保と、交通の円滑化を図る。					
内容 (手段・手法など)	都市計画道路(鷺山下土居線)の整備					
事業の 対象	何を	都市計画道路(鷺山下土居線)				
	誰に	地域住民及び道路利用者				
	どのくらい	整備総延長 L=150m				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	97	3	95	3
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	97	3	95	3

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	5,126	41,885
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	工事請負費	0	0	0
	用地補償費	0	0	0
	委託料	0	5,126	41,885
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	5,126	41,885

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	5,223	41,980

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	20,990
県支出金	0	0	0
市債	0	5,126	18,891
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	5,126	39,881

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	0	97	2,099

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単位	m
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	150	150	
実績値	—	150	150	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	2(整備完了時)	2(整備完了時)	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、岐阜駅周辺の混雑緩和が図れることから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は鷺山中洙から下土居字米田までを南北に結ぶ都市計画道路であり、(都)環状線から(主)岐阜大野線までは整備済みである。本路線より南側の区間は、鷺山中洙土地区画整理事業により整備され、同調して整備することで走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①円滑な交通の確保 ②災害時緊急車両等の確保 ③安全で快適な歩行空間の確保
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	(都)岐阜環状線から(都)長良糸貫線までを南北で結ぶことで、交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。